

ジャパンデニムが好発進



アクセが生産者らとコラボ 「500年ネクタイ」を売り出す

セレクトショップ「PARIGOT」(パリゴ)などを展開する(株)アクセ(尾道市久保1-8-1、高垣圭一朗社長、資本金2千万円、電0848・37・3629)が地場の名産品を全国に広めるプロジェクトを本格化している。

2016年秋、社内に「せとうちものづくりプロジェクト」を立ち上げ地元企業などと連携して瀬戸内圏域で古くから伝わる魅力ある製品を同社のフィルターを透して発掘、時代が求めるスタイルに商品化し

て広めている。

その中には「尾道帆布」や「今治タオル」などがあり、現在新たにフォーカスを当てているのが備中備後で生産されてきたデニム生地。

地元生産者や国内外で活躍するデザイナーとコラボして商品化したジーンズを「JAPAN DENIM」(ジャパンデニム)としてブランド化する取り組みに力を入れている。

パリゴ銀座店が入居している東京のラグジュアリー商業施設「GINZASIX」の4階POPUPスペースで、ジャパンデニムを今年3月27日から1カ月間販売したところ計画を大きく上回る売れ行きとなり、このスペースのオペレル部門で歴代2位となる実績を上げた。

一方で、今年5月13日に発表された「GINZASIXワード2018」と称するテナント表彰式では、パリゴ銀座店が19年3月期の総合部門3位に選ばれるなどこの施設で有力なテナントとして評価され

ている。ジャパンデニムのアイテムはパンツやジャケットのみならず、ネクタイの開発も進めてきた。

このネクタイは写真下IIの製品化は地元の次の5社との協業で実現した。かつこ内は各社のキャッチフレーズ・所在地・創業年)。

坂本デニム(株) (藍にこだわったインディゴ染色一筋・福山市・1892年)▽篠原テキスタイル(株) (繊細な高級デニム生地を追求・同・1907年)▽山陽染工(株) (世界最高峰の段落ち抜染加工技術・同・1927年)▽有タグチ (創業から信頼を積み重ねてきた色止め加工・同・1927年)▽(株)アクセ(お客様に心から喜んで頂ける価値を創造し続ける・尾道市、1925年)



このネクタイは各社の創業から現在までの年数を合計すると500年を超えることから「500年ネクタイ」とネーミング。一本の価格は2980円(税抜き)でネクタイ&チ

フセットは3900円(同)。パリの尾道、福山、広島、松山の各店で販売している。

今後モジャパンデニムで新製品を開発する予定。

※写真上は今年3月27日GINZASIXで開いたジャパンデニム発表会のレセプションに参加した枝廣直幹福山市長を囲んだ記念写真。

従業員の確保に一役 8/20に企業説明会

尾道市就職促進協議会

尾道市ふる里就職促進協議会(事務局・尾道市商工課内、電0848・38・9183)が8月20日(火)に県立びんご運動公園健康スポーツセンター(尾道市栗原町997)で「尾道地域企業合同説明会」を開催するのに合わせて、参加企業を募っている。

参加要件として、尾道市内に本社または求人対象の事業所(支店・営業所・工場等)があること。正規社員または契約社員を求人予定であること。求人

条件が関係法令を遵守していることなどを挙げている。

参加費は無料で、希望者は同協議会のHPから所定の申し込み書をダウンロードして7月20日(土)までに事務局へ郵送するかEメールで届ける。

この説明会はU・I・Jライン就職など尾道地域への就職促進を図るため、毎年3月と8月に開催している。

ハローワーク尾道管内の求人倍率が2・29倍(3月統計)になるなど、従業員の確保が難しくなっている中、人事担当者が就職希望者に向けてアピールするのにこの説明会は有益な機会となりそうだ。

開港850年の企画展 会議所記念館で開催

尾道商業会議所記念館(尾道市土堂1-8-8、電0848・20・0400)で11月6日(水)まで「尾道開港850年〜黄金時代と都市の考古学」と題した企画展を開催している。

中・近世正時代に黄金期を迎え、港を中心に賑わった歴史を示す資料を写真、解説文などを添えて展示している。入館料は無料。開館時間は午前10時〜午後6時。木曜日は休館。

尾道地域 企業合同説明会
8/20(火)
13:30-16:30 (開場:12:30~)
入場無料 入退場自由
尾道市ふる里就職促進協議会事務局